



▲地区の代表16チームが競った迫老連シニアスポーツ大会

迫で迫老連シニアスポーツ大会 元気はつらっプレーが続出

会員の健康維持と交流などを目的とする、「迫町老人クラブ連合会シニアスポーツ大会」が9月12日、中江中央公園で開催されました。競技はグラウンドゴルフとペタンクの2種目。町内の4地区から老人クラブの代表16チーム、128人が参加しました。当日はやや肌寒い天候でしたが、参加者は寒さをはねのけるような元気あふれるプレーを展開しました。千葉淑子さん(立戸)は「ほかの地区の皆さんとプレーをするのが楽しみなので練習してきた。健康に気を付けて来年もまた参加したい」と話していました。

豊里で消防演習 いざというときに備えて

秋の火災予防週間にちなんで、豊里町消防演習が9月3日、豊里運動公園多目的運動場で実施され、団員や関係者ら約200人が参加しました。通常点検や機械器具点検などの訓練のほか、ポンプ車や積載車を使った実地放水訓練を実施。長さ10mの竹の先端に閉じた状態の傘を取り付け、放水により傘を開かせて正確性を競うという珍しい競技も行われました。演習の競技結果は次のとおりです。

【総合】第1位＝4分団、第2位＝2分団、第3位＝自動車分団【小隊訓練】第1位＝4分団



▲いざというときに備え本番さながらに訓練をする団員

登米でとよま秋まつり 伝統の祭りで見物客を魅了

延宝3年(1675年)から始まったと伝えられている伝統の祭り「とよま秋まつり」(登米秋まつり協賛会主催)が、9月16、17日の2日間開催されました。16日の宵まつりでは、弓による儀式「墓目の儀・大的式」を皮切りに、各町内会で作成した迫力ある12台の山車と4台のみこしの審査会、新能などが行われました。翌日の本まつりでは、神楽の奉納やとよま囃子踊りパレード、よさこい踊りなどを実施。町内をお囃子の音色で響き渡らせて練り歩いた山車やみこしで、多くの見物客を魅了しました。



▲山車12台とみこし4台の行列に沿道にぎわった「とよま秋まつり」

津山でみやぎの現場訪問事業 間伐の必要性を知事と懇談

村井県知事が各地を訪問する、「みやぎの現場訪問事業」が8月24日、津山町竹の沢地内の間伐作業現場で行われました。高性能林業機械の導入などで、作業の効率化と低コスト化を進めている「夢の森つやま協同組合」の組合員6人と関係者が参加。佐々木善市理事長が林業の現況などを知事に説明したり、組合員が林業用ハーベスタで間伐作業を実演したりしました。知事も機械を操作し採材を体験。懇談会では「公共施設の木質化を進めてほしい」「間伐は災害防止にも有効」など、活発に意見が交わされました。



▲村井県知事を囲み活発に意見が交わされた「みやぎの現場訪問事業」



▲バラエティーに富んだ競技を楽しみながらも真剣に競技する参加者

米山全域で秋のスポーツの祭典 笑いでつなぐ地域の輪

地区コミュニティの運動会が、9月3日に吉田地区で、西野・中津山両地区では9月10日に開催されました。勝ち負けにこだわらず、みんなで楽しめる行事として地域に定着しているこの行事。バラエティーに富んだプログラムに、応援席から笑い声や手拍子が飛び交い、大いににぎわいました。その一方、競技に参加した皆さんは楽しみながらも目は真剣そのもの。さわやかな秋空のもと、気持ちの良い汗を流しました。各地区の優勝行政区は次のとおりです。

【吉田】鈴根【西野】砥落【中津山】追土地

東和で秋の体験イベント「リンゴ狩り」 もぎたてリンゴを丸かじり

秋の体験イベント「リンゴ狩り」が9月9日、東和町嵯峨立地区のリンゴ団地で行われ、市内外から約40人が参加しました。東和道の駅農産物出荷組合の主催で、生産者と消費者との交流が目的。キノコのホダ木作り、シイタケ収穫体験などが行われた「春を食べよう市」に続く体験交流事業の第2弾。今年のリンゴは残暑の影響を受け、例年より多少色付きが遅かったものの当日には真っ赤に色付き、参加者はおいしそうなるリンゴを収穫しました。また、収穫後には豚汁も振る舞われ、秋の味覚を満喫しました。



▲もぎたての真っ赤なリンゴをおいしそうに食べる子どもたち